

アンソニー（トニー）R.ピエトランジェロ 経歴

原子力エネルギー協会 上級副社長（SVP）兼最高原子力責任者（CNO）

ピエトランジェロ氏は原子力産業界で33年の経験を有し、原子力プラントの建設、許認可、運転のあらゆる分野で責任ある立場を歴任している。

NEI とその前身組織に1989年から在職し、その間、許認可、リスク情報を活用した規制のイニシアチブ、パフォーマンス・ベースの規制、その他技術的または規制上の包括的な課題の管理の責任者を務めた。2006年に規制分野の副社長に就任し、現在、新規プラント建設、既設プラント運転および燃料サイクル活動を担当する取締役である。

同氏は、NEI において、コンフィギュレーション・リスク管理、停止時管理、リスク情報を活用したパフォーマンス・ベースの規制、その他の様々な規制及び許認可の課題に関する規制ガイダンス等の分野で産業界の取組みをリードしてきた。また、規制監視プロセスの緩和系パフォーマンス指標にリスクの観点を導入する産業界の取組みをリードすることに尽力した。

NEI 所属前は、Westinghouse 社で、ブラジル、韓国、フィリピン及び米国の原子力発電所の建設、試験、運転を担当するプロジェクト・エンジニアとして勤務した。

コロンビア大学 工学・応用理学部(生産工学)卒、Keller 経営学大学院で経営学修士(MBA)取得。